

受領 令和4年3月2日 23時14分

通告番号(6)1/2

令和4年3月2日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
長 濱 宗 則 印

一般質問通告書

第515回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>1 (仮称)村道比謝横断線について</p> <p>読谷村は平成12年12月17日に牧港補給地区(キャンプ・キンザー)の倉庫群をトリイ通信施設へ移転することを容認した。トリイ施設に大型物流施設が機能すれば、大型トレーラー車両、基地関係者の車両の往来が今まで以上に増加すると予想されます。現在でも渋滞が激しい県道6号線、県道16号線、それぞれの沿線には読谷高校、古堅中学校、古堅小学校、古堅南小学校が隣接しており、交通量の増加に伴い、登下校の交通安全が懸念されます。又、計画道路は、現在、大木南土地地区画地内を横断することから早期実現が求められております。</p> <p>(1) (仮称)村道比謝横断線の事業概要を問う。</p> <p>(2) 補助メニューを問う。</p> <p>(3) 事業化に向けて村の取組みは。</p> <p>(4) 仮に事業に着手した場合、工事期間の想定は。</p>	
<p>2 読谷村の農業政策から</p> <p>農業は本村の重要な基幹産業であります、本村は先進農業支援センター整備、旧読谷補助飛行場跡利用で先進農業集団地区も整備されて生産基盤整備が行われ農業振興に寄与されております。しかし、若手の育成農家の所得向上等、課題も積算されており、これからの農業政策は読谷村の食の視点から大変重要な取り組みになります。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(1) 読谷村の令和2年度の耕作面積と生産農家数、農家人数、認定農業者数。</p> <p>(2) 読谷村の令和元年度から令和2年度農業生産実績は、主な作物は。</p> <p>(3) 6次産業のこれまでの実績と課題は。</p> <p>(4) 農業支援センターの運営状況は。</p> <p>(5) 農地バンクの実績と課題は。</p> <p>(6) 担い手後継者をどう育成してきたか、今後どう育成されるか。</p>	
<p>3 読谷村の豊かな自然環境保全から</p> <p>読谷村の地形は琉球石灰岩の大地・段丘で構成されており。土壌はいずれも琉球石灰岩を母材とする多良間2統からできている、村の西側は東シナ海に面しており、その海岸線総延長は14Kmにもなります、自然のままの海岸が特徴であります。青い海を次世代に残せるか。</p> <p>(1) 雨水、汚水による川、海への影響を把握しているか。</p> <p>(2) 川や海辺の環境調査を行った実績あるか。</p> <p>(3) 川や海の環境保全に取り組んだ実績。</p> <p>(4) 川や海の環境保全を守るため村としての対策は。</p> <p>(5) 子ども達に川、海の素晴らしさをどう伝えて行くか。</p>	